

# APEXFiz<sup>®</sup> Design バージョンアップ情報 注目の最新機能をご紹介します

APEXFiz Design ソフト バージョン (V-01) の注目機能についてご紹介します。  
その他の新しく対応された機能については、Design ソフトのヘルプにて詳細をご確認ください。

## 織物デザイン

■ 対応プラン： [Design Jr.](#) [Design-Weave](#) [Design Pro](#)

織り生地のシミュレーションを実行する際、各種マップ画像、および U3M ファイル (各種マップ画像の管理ファイル) を出力できるように対応しました。お使いの汎用 3D ソフトにてオブジェクトに素材を合成する際にご活用いただければ、生地の自然な凹凸感や糸の毛羽立ちなど、驚くほどリアルなイメージを表現できます。



## e コマース向け画像作成

■ 対応プラン： [Design-Standard](#) [Design-Knit](#) [Design-Weave](#) [Design Pro](#)

EC サイトに掲載するためのマッピング結果の画像を、サイズ指定してエクスポートできるように対応しました。

EC サイトでは画像サイズが決まっている場合がほとんどであるため、今回の対応により、エクスポートした画像をそのまま使用することができ、作業の効率化が図れます。

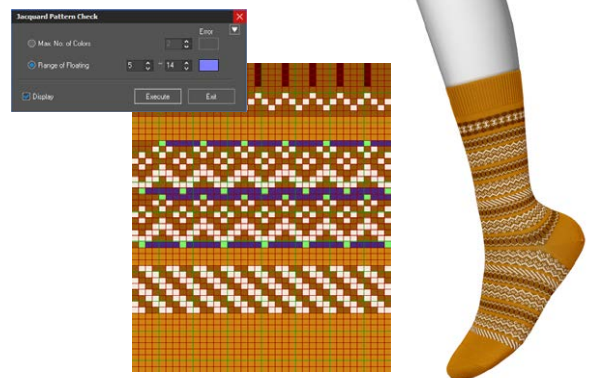


## ニットデザイン

■ 対応プラン： [Design-Knit](#) [Design Pro](#)

ジャカード柄を作成する際、裏側の浮き糸をより考慮した状態でデザインできるようにメニューを改良しました。

靴下などのデザインをする際、裏側のフローティング部分の目数によっては、編み地が伸びずに履き心地が悪くなります。新バージョンでは、「〇〇目～〇〇目まで」というようにフローティング目数の範囲でチェックできるようになり、生産をより考慮したデザインがおこなえます。



## モニターの原寸大表示の方法を改良

■ 対応プラン： [Design Jr.](#) [Design-Standard](#) [Design-Knit](#) [Design-Weave](#) [Design Pro](#)

モニターの原寸大表示の設定方法を改良しました。

デザインソフトでは、バーチャルサンプルなどを原寸で表示させるためにモニターの解像度を入力する必要があります。今回、モニターの寸法を入力すれば、解像度を自動的に計算し、原寸大表示できるようになりました。